

古文ドリル：「ばや」「なむ」「がな」など願望表現 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：願望表現の整理

古文の願望（～したい／～してほしい）を表す終助詞・連語：

形	接続	訳	主体
ばや	未然形	～したい	自分（1人称）
なむ（他者願望）	未然形	～してほしい	他人（2/3人称）
てしがな／にしがな	連用形	～したい	自分（強い願望）
もがな／がな	体言・形容詞語幹	～があればなあ	願望（存在）

識別の鉄則

- 未然形＋「ばや」 → 自分の願望「～したい」
- 未然形＋「なむ」 → 他者への願望「～してほしい」
- 連用形＋「てしがな／にしがな」 → 自分の強い願望
- 体言＋「もがな／がな」 → 物事存在を願う

注意：「なむ」の混同

「なむ」には複数の用法あり：

用法	接続
願望（他者）「なむ」	未然形
完了「ぬ」未然＋推量「む」	連用形
係助詞「なむ」	強調

→ 直前の活用形で識別。

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① まず「ばや」を見つけたら未然形チェックだけでOK

「ばや」は **ほぼ100%** 自分の願望「～したい」。複数用法を悩む必要なし。例：「行かばや」→即「行きたい」と訳す。

コツ② 「なむ」は直前の音で即判断

- ・ 直前が **アの音（未然形っぽい音）** → 「～してほしい」（他者願望）
- ・ 直前が **イ・ウの音（連用形っぽい音）** → 「～してしまうだろう」（完了+推量）
- ・ それ以外（体言・連体形・助詞の後）→ 係助詞（強調・訳さない）

例：「咲かなむ」→ア音→「咲いてほしい」／「咲きなむ」→イ音→「きっと咲くだろう」

コツ③ 「がな」「もがな」は前を見るだけ

- ・ 前が **体言（名詞）** → 「～があればなあ」
- ・ 前が **連用形** → 「～したい」（てしがな・にしがなの一部）

「てしがな」「にしがな」は丸ごと1セットで「～したい」と覚える。分解しない。

コツ④ 文末の「ばや」「なむ」「がな」はほぼ願望系

願望の終助詞は **文末**（または句点の直前）に来る。文中にある「なむ」は係助詞の可能性が高い。

例：「世にあらなむ」（文末）→願望／「春なむ来たる」（文中）→係助詞。

試験本番でのチェック順序

1. 「ばや／なむ／がな／もがな／てしがな／にしがな」のどれかを特定
2. **直前の語**の活用形（未然か連用か体言か）を見る
3. 表に当てはめて訳を決定
4. 文末か文中かで係助詞「なむ」を除外

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- ・ 「なむ」を見ると全部「～してほしい」と訳す → 連用形接続は完了+推量「きっと～だろう」
- ・ 「がな」を疑問「～かな」と訳す → 古文の「がな」は願望のみ
- ・ 「ばや」を仮定「～ならば」と混同 → 「ばや」は終助詞、文末に来る

採点表

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】 基礎編 (Q1~Q20)

Q1. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

古典を学ば**ばや**。

Q2. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

春の野花のいざ咲かな**む**。

Q3. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

命の長き世**もがな**。

Q4. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

我れも古典を究めて**てしがな**。

Q5. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

我れ古典学**ばや**。

Q6. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

君も来なむ。

Q7. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

君が代千代もがな。

Q8. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

仏に祈らばや。

Q9. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

心安く生きてしがな。

Q10. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

月見ばや。

Q11. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

月隠れなむ。

Q12. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

心ある友もがな。

Q13. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

古き友、見**ばや**。

Q14. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

古典を究めて**てしがな**。

Q15. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

我れ静かに眠ら**ばや**。

Q16. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

春雨降ら**なむ**。

Q17. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

心ある人**もがな**。

Q18. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

心通は**ばや**。

Q19. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

古典の道を歩み**てしがな**。

Q20. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

雪の白さ**もがな**。

基礎編 / 20

【第2部】標準編 (Q21~Q50)

Q21. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

都を見**ばや**と思ふ。

Q22. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

雨止ま**なむ**。

Q23. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

花散り**なむ**。

Q24. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

老いせぬ世**もがな**。

Q25. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

帝に仕へて**しがな**。

Q26. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

経を読ま**ばや**と思ひて。

Q27. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

鳥啼か**なむ**。

Q28. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

古き友**がな**。

Q29. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

旅に出で**ばや**。

Q30. 次の傍線部「にしがな」を識別せよ。

古き世を見に**しがな**。

Q31. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

風和ら**なむ**。

Q32. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

心を尽くさ**ばや**。

Q33. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

いつしか春もがな。

Q34. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

都に住みてしがな。

Q35. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

雨降りなむ。

Q36. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

人にも告げばや。

Q37. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

心を慰むるものもがな。

Q38. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

月さやかに照らなむ。

Q39. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

一目見ばや。

Q40. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

心ゆくまで遊**びてしがな**。

Q41. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

雨止ま**なむ**。

Q42. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

もう一度会**はばや**。

Q43. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

三世の願**ひもがな**。

Q44. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

雪降**りなむ**。

Q45. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

春の野に出**でばや**。

Q46. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

文を書**きてしがな**。

Q47. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

君が来なむ。

Q48. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

心安き世もがな。

Q49. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

しばし眠らばや。

Q50. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

風吹きなむ。

標準編 / 30

【第3部】 応用編 (Q51~Q80)

係り結び・敬語・複雑な文構造を伴う問題。

Q51. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

何事も忘れ**ばや**と思ふ。

Q52. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

桜散ら**なむ**、惜しからむ。

Q53. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

玉の緒の絶えなば絶えね、ながらへば忍ぶることの弱りもぞする。

Q54. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

春を待たばや。

Q55. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

千年も生きてしがな。

Q56. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

いつしか春来なむ。

Q57. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

君と同じ志もがな。

Q58. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

あの人に伝へばや。

Q59. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

風吹かなむ。

Q60. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

御目にかかりてしがな。

Q61. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

京に帰らばや。

Q62. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

あはれなる人もがな。

Q63. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

御身安らかになりたまはなむ。

Q64. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

一人にて居らばや。

Q65. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

都の様を見てしがな。

Q66. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

御文届かなむ。

Q67. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

風静かなる夜**もがな**。

Q68. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御覽ぜさせ給は**ばや**。

Q69. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

雲晴れ**なむ**。

Q70. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

此の人と語らひ**てしがな**。

Q71. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

文を書か**ばや**と思へど、暇なし。

Q72. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

御代長く続か**なむ**。

Q73. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

春ごとの花**もがな**。

Q74. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御供に侍ら**ばや**。

Q75. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

御簾の中に入り**てしがな**。

Q76. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

風止**みなむ**。

Q77. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御文奉ら**ばや**。

Q78. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

いつまでも変はらぬ友**もがな**。

Q79. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

桜の盛り過ぎ**なむ**。

Q80. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

古今の歌を学ば**ばや**。

応用編 / 30

【第4部】 入試レベル (Q81～Q100)

難関大頻出パターン。複合敬語・係り結び・係り受けの注意問題。

Q81. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御目にかから**ばや**と申す。

Q82. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

君が御代千代に八千代に栄え**なむ**。

Q83. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

古典の本意を伝へて**しがな**。

Q84. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

風雅の心**もがな**。

Q85. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

帝に奏せ**ばや**。

Q86. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

御前にて舞ひ**なむ**。

Q87. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御簾を上げ**ばや**。

Q88. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

御文をかきて**てしがな**。

Q89. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

春は早く来**なむ**。

Q90. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

千歳の松**もがな**。

Q91. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

御身を清め**ばや**。

Q92. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

暮らし果て**なむ**。

Q93. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

古き世に生まれて**てしがな**。

Q94. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

いとほしと思は**ばや**。

Q95. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

月の出で**なむ**を待つ。

Q96. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

いみじき才**もがな**。

Q97. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

都に上ら**ばや**と思ひ立つ。

Q98. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

御供に従ひて**しがな**。

Q99. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

我が思ふこと叶ひ**なむ**。

採点振り返り

- 基礎 (Q1～Q20) : /20
- 標準 (Q21～Q50) : /30
- 応用 (Q51～Q80) : /30
- 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- 合計 : /100

あしがき

願望表現の識別の核心： - 未然形+ばや → 自己願望「～したい」 - 未然形+なむ → 他者願望「～してほしい」 - 連用形+てしがな／にしがな → 強い自己願望 - 体言+もがな／がな → 物事存在を願う

「なむ」は 連用形+なむ=完了「ぬ」未然+推量「む」との混同に注意。「ばや」「なむ」の前の活用形を必ず確認すること。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太